



リモート接続先

BAT を使用して、リモート接続先の詳細を挿入、削除、エクスポートできます。次のトピックでは、BAT でのリモート接続先の操作について説明します。

- [リモート接続先の挿入 \(P.56-2\)](#)
- [リモート接続先の削除 \(P.56-3\)](#)
- [リモート接続先のエクスポート \(P.56-4\)](#)

リモート接続先の挿入

BAT を使用してリモート接続先の詳細を挿入する手順は、次のとおりです。

始める前に

- リモート接続先に固有の詳細を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。
- [P.2-4](#) の「[ファイルのアップロード](#)」の手順に従って、該当ターゲットとトランザクションのための機能を選択してデータ ファイルをアップロードします。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理] > [モビリティ] > [リモート接続先] > [リモート接続先の挿入] の順に選択します。
[リモート接続先の挿入 (Insert Remote Destination Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、アップロードしたファイルを選択します。
 - ステップ 3** 既存の設定を上書きするには、[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 4** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションに、ジョブの説明を入力します。デフォルトの説明は、「Insert Remote Destination」です。
 - ステップ 5** 対応するオプション ボタンを選択して、ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを選択できます。
 - ステップ 6** [送信] をクリックして、リモート接続先を挿入するジョブを作成します。

[ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。
 - ステップ 7** [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。
-

その他の項目

詳細については、[P.56-6](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

リモート接続先の削除

始める前に

- リモート接続先に固有の詳細情報を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。
- [P.2-4](#) の「[ファイルのアップロード](#)」の手順に従って、トランザクションのための該当ターゲットと機能を選択してデータ ファイルをアップロードします。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理] > [モビリティ] > [リモート接続先] > [リモート接続先の削除] の順に選択します。[リモート接続先の削除 (Delete Remote Destination Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [削除 リモート接続先、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
- [名前]
 - [接続先]
 - [リモート接続先プロファイル]
 - [デュアルモードフォン]
- ステップ 3** カスタム ファイル ドロップダウン リスト ボックスで、リモート接続先を削除するためにアップロードしたファイルを選択します。
- ステップ 4** [検索] をクリックします。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションが表示され、選択したリモート接続先が示されます。
- ステップ 6** 対応するオプション ボタンを選択して、ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを選択できます。
- ステップ 7** [送信] をクリックして、リモート接続先を削除するジョブを作成します。
- [ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。
- ステップ 8** [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジューリングやアクティブ化を行います。
-

その他の項目

詳細については、[P.56-6](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

リモート接続先のエクスポート

BAT を使用してリモート接続先をエクスポートする手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理] > [モビリティ] > [リモート接続先] > [リモート接続先のエクスポート] の順に選択します。[リモート接続先のエクスポート (Export Remote Destination Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の [検索 リモート接続先、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のオプションのいずれかを選択します。

- [名前]
- [接続先]
- [リモート接続先プロファイル]
- [デュアルモードフォン]

ステップ 3 2 番目の [検索 リモート接続先、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列で終わる]
- [が次の文字列と等しい]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 4 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべてのファイルを表示するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。

ステップ 5 クエリーをさらに定義するには、次のようにします。

- a. ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択し、ステップ 2 ~ 4 を繰り返します。
- b. [+] ボタンをクリックすると複数のフィルタを追加でき、[-] ボタンをクリックするとフィルタを削除できます。
- c. [フィルタのクリア] ボタンをクリックすると、すべてのフィルタを一度に削除できます。

ステップ 6 [検索] をクリックします。

検索されたファイルのリストが、次の項目別に表示されます。

- [名前]
- [接続先]
- [リモート接続先プロファイル]
- [デュアルモードフォン]

- ステップ 7** [次へ] をクリックします。次の [リモート接続先のエクスポート] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 8** [リモート接続先のエクスポート] セクションの [ファイル名 (File Name)] フィールドにファイル名を入力します。
- ステップ 9** [ファイル形式 (File Format)] ドロップダウン リスト ボックスで、[Remote Destination Format] を選択します。
- ステップ 10** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションで、対応するオプション ボタンを選択して、ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを選択できます。
- ステップ 11** [送信] をクリックして、リモート接続先をエクスポートするジョブを作成します。
- [ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。
- ステップ 12** [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジューリングやアクティブ化を行います。
-

その他の項目

詳細については、[P.56-6](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [リモート接続先の挿入 \(P.56-2\)](#)
- [リモート接続先の削除 \(P.56-3\)](#)
- [リモート接続先のエクスポート \(P.56-4\)](#)
- [リモート接続先プロファイルテンプレート \(P.57-1\)](#)
- [Cisco Unified Mobility Administration Guide](#)